

公共交通地区別座談会（那古地区）  
開催結果報告書

平成30年3月  
館山市総合政策部企画課



## 1. 開催目的

館山市内の各路線バスは、人口減少・少子高齢化や自動車への転移により利用者が落ち込んでおり、公的支援（「地域間幹線系統」については国や県の補助を、それ以外の路線については市の補助）を受けて運行事業を継続している状況である。支援（補助金）の規模については年々増加傾向にあり、行政の支援も限界に達している状況である。

そこで今年度、本市が南房総市と共に補助金を拠出して運行を維持している3つの路線（豊房線、千倉線、丸・平群線）の沿線地区住民を対象に座談会を実施し、ニーズの把握を大きな目的とし、住民からのご意見や利用促進に係る提案などをいただくこととした。すでに9月には豊房・神余地区及び九重地区で座談会を開催し、普段バスを利用しない人も含め意見交換を行ってきた。

あわせて、ニーズや住民からの要望などの基礎情報を把握するため、当該地区住民を対象としたアンケート調査も実施した。

## 2. 開催概要

- 開催日 平成30年2月14日（水） 15時から16時40分
- 会場 那古地区公民館
- 参加者 那古地区住民 合計15名  
館山日東バス 合計1名  
館山市職員 合計3名
- 内容
  - ・路線バスの現状等の説明
  - ・住民、市、バス事業者が路線バス利用促進策等に関する意見交換をワークショップ形式で開催

## 3. 意見交換概要

### ○意見交換テーマ

「路線バスが、地域のみなさんにとって、もっと便利になって、もっとたくさんの方に利用してもらうには？」

### ○意見交換の方法

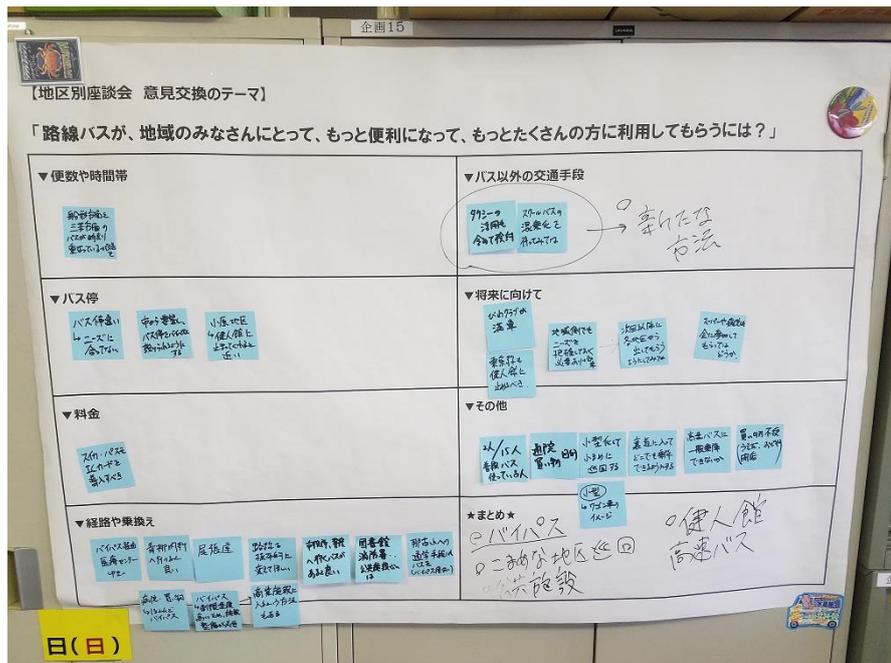
上記のテーマに従い、住民から自由にご意見をいただき、一部については市や事業者からいただいたご意見や要望に対し状況説明を行った。また、模造紙を会場に張り出し、いただいたご意見を付箋に書いて貼り付けていくことで、参加者が意見交換の内容を一目で分かるようにした。

○意見交換で出されたご意見等の内容について

意見の分類	意見内容
バスを普段使っている人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2人。通院や買物が利用の主目的である。</li> </ul>
便数や時間帯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内線（富浦方面）と丸・平群線（三芳方面）の運行時刻が重なっているため、調整をするなど改善してほしい。</li> </ul>
バス停	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス停が自宅から遠く、ニーズに合っていない。</li> <li>・ 館山バイパス上にバス停を設置できるように、市からも要望してほしい。</li> </ul> <p>※バイパス上に停車するには、既設の歩道敷を削り、バスベイ等を作らないと設置できないという話から。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小原地区の住民にとっては、健人館にバスが止まってくると近くなる。</li> </ul>
料金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スイカ、パスモなどのICカードを導入してほしい。</li> </ul>
経路や乗換え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院や買物などの行先はほとんどバイパス上にあるため、バイパス経由を作してほしい。バイパス経由の医療センターゆきなどがあれば更に便利。</li> <li>・ バイパスは制限速度が高いため、バスベイ等の施設を整備しないとそのまま停車できないが、尾張屋やカインズといった商業施設等と協議をし、施設内に乗り入れるといった方策も考えられる。</li> <li>・ 市役所や警察署、図書館、消防署ほか公共施設に乗り入れてもらいたい。</li> <li>・ バイパスの横断が危険なため、那古小学校への通学手段にバスを導入してほしい。</li> </ul>
バス以外の交通手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タクシーの活用やスクールバスの混乗化を検討してもらいたい。</li> </ul>
将来に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ とみうら枇杷倶楽部の駐車場が満車状態であることから、東京便を含めて健人館に止めれば便利になるのではないか。</li> <li>・ 地域自らが地域のニーズを把握しておく必要があるのではないか。この座談会が次回以降</li> </ul>

	<p>も続くのであれば、次回までに各地区からニーズ分析結果等を出してもらおうようにして みてはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーや病院にも会に参加してもらってはどうか。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスを小型化して地区内をこまめに巡回してほしい。</li> <li>・小型化の上、裏道に入りどこでも乗降できるようにする。</li> <li>・高速バスの一般乗降が可能にならないか。本数も多く走っているため便利になると思う。</li> <li>・那古地区は、うえだストアやおどや正木店が閉店し、買物が不便な状況である。</li> </ul>
まとめ(特に意見が多かったものなど)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館山バイパス経由の路線の検討。</li> <li>・車両の小型化とこまめな地区内巡回実施。</li> <li>・市役所、警察署をはじめとした公共施設に行くバスの設定。</li> <li>・健人館への東京便停車など、更なる活用。</li> <li>・高速バスの一般乗降。</li> <li>・地域側での地域ニーズ把握の必要性。</li> </ul>

【参考】意見交換結果



## 【参考】座談会案内チラシ

那古地区の皆様へ



公共交通に関する**地区座談会**を開催します！  
“路線バスなど公共共通について皆様のご意見をお聞かせ下さい”  
～～～「いつまでも、いつでも身近な公共交通」を目指して～～～

路線バスなどの公共交通は、私たち市民にとって、なくてはならない、かけがえのないものです。ところが、車社会の進展により、利用者が大幅に減少し、路線等の維持がたいへん困難な状況になってきています。

一方で、これからの超高齢化社会を迎え、路線バスなどの公共交通は、私たちの生活の“足”として、さらに重要なものになっていきます。

そこで、市では、もっと便利になるように、もっとたくさんの方々に利用してもらえるように、市民の皆様から、「もっと〇△□してほしい！・・・」など、路線バスなどの公共交通について、生のご意見をいただきたいと考えています。

つきましては、以下のとおり、座談会を開催します。ざっくばらんに意見交換できるよう、堅苦しくない座談会を考えています。皆様お気軽にご参加ください！

- 日時 2月14日（水）午後3時～
- 会場 那古地区公民館（和室）にて
- 参加対象 那古地区の住民の皆様（年齢・男女を問いません。）
- 内容
  - ・市より路線バスの現状を説明
  - ・参加者の皆様、市職員、バス事業者との意見交換



みなさんの意見  
が大切です！！  
よろしくお願いします！

### ★裏面のアンケートにご協力をお願いします★

路線バスなどの公共交通がもっと便利になるような対策を検討していくには、地域の皆様のたくさんのご意見が必要です！ ご協力をお願いします！

座談会に参加しない方や、普段路線バス等を使用しない方もアンケートのご協力をお願いします。

提出〆切：2月14日（水）（座談会の日まで）

提出方法：座談会に参加する方は、記入したものを会場にお持ちください。

座談会に参加しない方は、以下のいずれかの方法で提出してください。

◆ファックス：市役所企画課に提出 ファックス番号 0470-23-3115

◆メール：[kikakuka@city.tateyama.chiba.jp](mailto:kikakuka@city.tateyama.chiba.jp)

※本文欄に回答を記入、または、回答用紙を写真撮影し画像を添付して送信してください。

◆郵送：〒294-8601 館山市北条1145-1 市役所企画課（郵送料はご負担願います）

◆回収ボックス：那古地区公民館にある回収ボックスに入れてください。

【主催・問合せ先】館山市役所 総合政策部 企画課 TEL22-3163

【参考】座談会当日配布資料

路線バスなど公共交通の地区別座談会資料

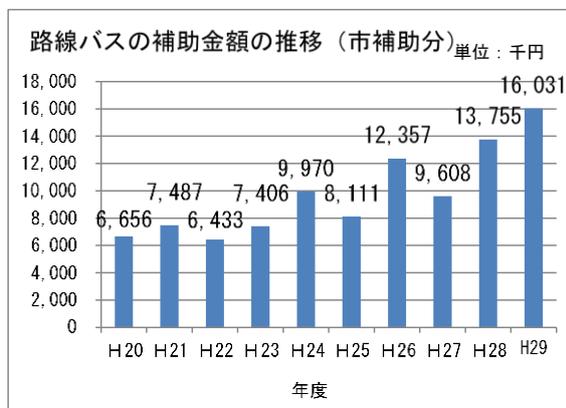
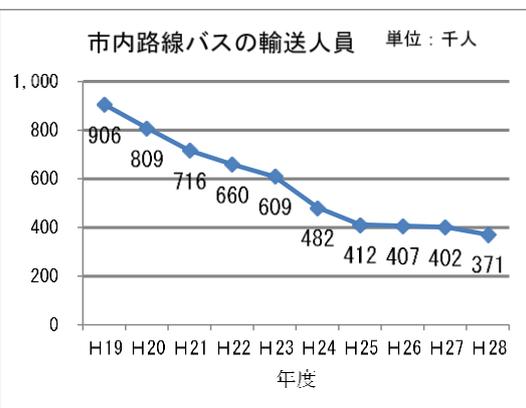
(H30. 2. 14 那古用)



▼市内の路線バスの現状

路線バスは、車の運転ができない人にとって、必要不可欠な交通手段です。  
ところが、市内を走る8つの路線で利用者が減少！公的支援がないと運行を維持できないほど厳しい経営状況です。

10年前と比べると路線バス利用者は半分以上、市が負担する補助金も大幅アップになっています！！



▼路線バス利用者が増えれば状況は改善！

どれくらいの方が利用すれば路線バスの運営はよくなるの？  
市が負担している補助金分（H29年度分）を賄うとしたら？  
何人が乗ればいいのか？

$$\text{平均乗車単価 } 329 \text{ 円} \times 48,630 \text{ 人} \approx 16,000,000 \text{ 円!}$$



ということは、市民の約**9%**の方々が **月1回**利用すれば改善へ！！

(注意) あくまで市が独自に算出した推計値です。

▼利用者の増加には、どうすればもっと便利で使いやすくなるかなど、地域の課題や地域住民のニーズを明らかにし、行政や交通事業者が、住民の皆様と共に、対策を検討していくことが大切です！

▼公共交通は「健康」に良い！

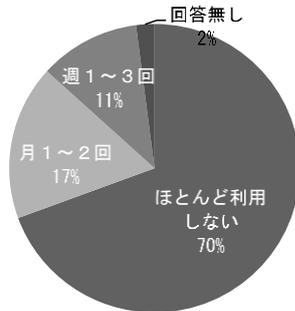
自家用車は便利だけど、維持費がかかるし、事故が心配。  
自家用車依存は、体がなまって健康に良くない。  
自家用車に依存する田舎ほど運動せず不健康の傾向。



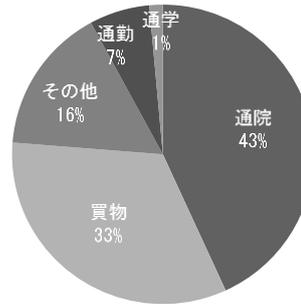
## ▼住民の皆様へ公共交通に関するアンケートを実施しました。

※千倉線・豊房線の沿線地区住民を対象に実施しました。

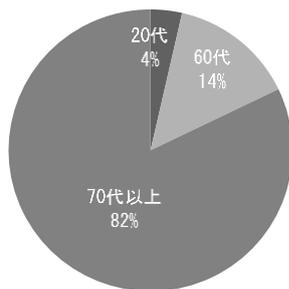
### ■「路線バスをどれくらい利用しますか？」



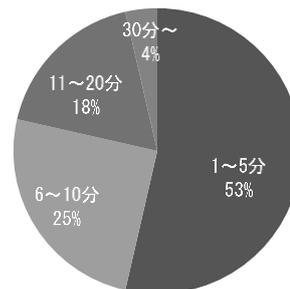
### ■「利用目的は？」



### ■「週1～3回、月1～2回利用する方の年齢は？」



### ■「週1～3回、月1～2回利用する方のバス停までの距離は？」



### ■他にもこんな意見が・・・

- ・ 将来、高齢で車を運転しなくなるから路線バスを利用する。
- ・ バスを小型化して、便数増加、地区内を巡回してほしい。
- ・ 路線バスや鉄道などとの接続を良くしてほしい。
- ・ 料金面での助成があるとよい。

## ▼運転免許を自主返納した人に優遇措置があります。

- ①路線バス半額（65歳以上）※路線バス事業者が実施
- ②バス回数券など贈呈（5千円分・75歳以上・1回限り）※館山市が実施
- ③タクシー1割引き ※タクシー事業者が実施